



ECO₂ プランふじいでら
藤井寺市地球温暖化対策推進実行計画

平成 13 年度実績報告
(2001 年度)

平成 14 年 6 月
藤 井 寺 市

目 次

1 . 全 体	1
2 . 施設分類別排出量	2
3 . 公用車の走行距離及び燃料使用量	4

ECO₂ プランふじいでら藤井寺市地球温暖化対策推進実行計画の計画期間 1 年目にあたる 2001 年度（平成 13 年度）における温室効果ガス排出量を集計した。

また、各課室・施設での取り組み状況を合わせてとりまとめた。

対象期間：2001 年（平成 13 年）4 月～2002 年（平成 14 年）3 月（12 か月）

1. 全 体

(1) 総排出量

市全体における温室効果ガス排出量は、基準年度である 1998 年度（平成 10 年度）と比較して表 1、図 1 のとおり 9.2% 減少した。

但し、市民総合会館本館（以下、「市民総合会館」という。）の休館による影響は大きく、同館が基準年度と同様の業務を行ったと仮定した場合は 0.7% の減少である。

なお、市役所本庁舎では 5.5%、市民利用施設では 28.1%（市民会館利用推定では 4.3%）の削減を達成している一方、保育所を含む教育等施設では 3.6%、浄水場等のその他施設では 3.1% それぞれ増加している。

表 1 全体排出量の年度比較

項目	1998 年度	2001 年度	2001 年度 (推定)
総排出量 (t-CO ₂)	5448.2	4944.4	5408.9
1998 年度を基準とした割合	100.0%	90.8%	99.3%
削減率		9.2%	0.7%

推定：市民総合会館が 1998 年度と同様に業務を行った場合の推定値

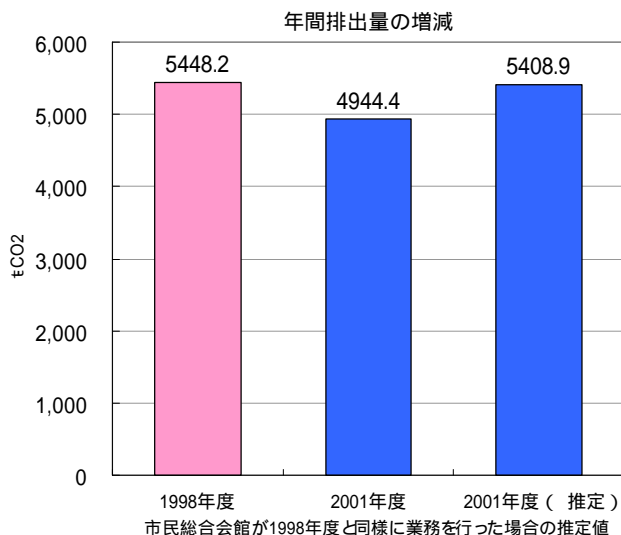


図 1 全体排出量の年度比較

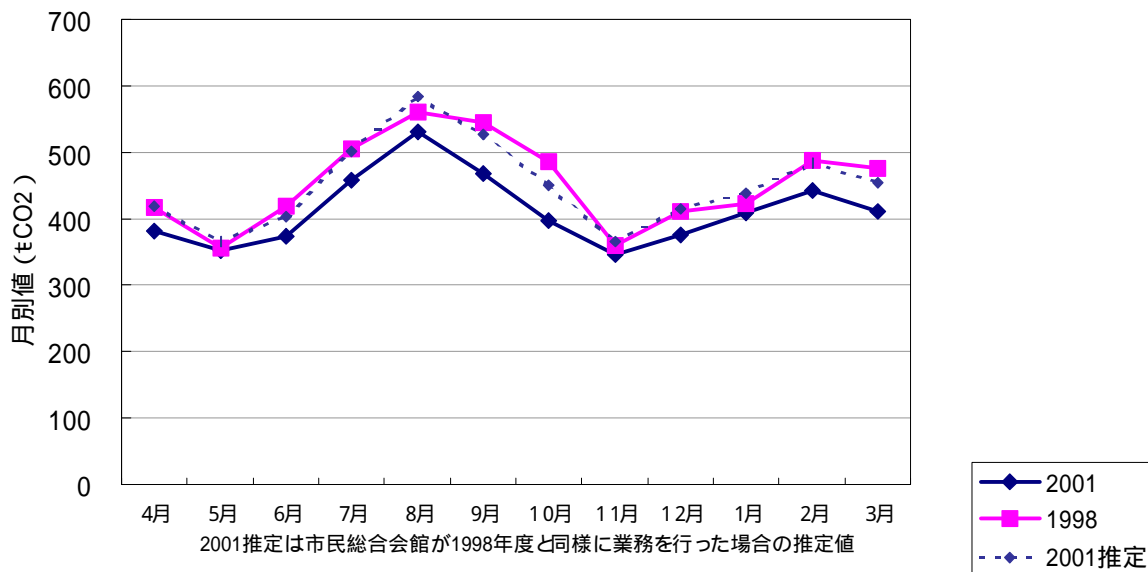


図 2 全体排出量の月別変動

(2)目標に対する進捗状況

エネルギー等の使用量削減に関する目標と比較すると、表2のとおりである。

電気以外の項目では実績、推定値ともに減少しているが、寄与率の高い電気が推定値では2.0%増加となっており、全体の温室効果ガス排出量としては増減が相殺された形となった。

表2 エネルギー等の使用量削減に関する目標に対する進捗状況

項目	平成17年度(2005年度)における目標	細項目	進捗状況	
			平成13年度(2001年度)	
			実績	推定値 ¹
電気	平成10年度(1998年度)に対し約5%削減する。		-4.0%	2.0%
都市ガス	平成10年度(1998年度)に対し約5%削減する。		-28.7%	-3.4%
A重油	平成10年度(1998年度)に対し約4%削減する。		-24.8%	-24.8%
その他燃料	極力削減に努める。	ガソリン	-59.0%	-59.0%
		灯油	-40.3%	-40.3%
		軽油	-59.7%	-59.7%
		LPG	-29.1%	-29.1%
公用車の使用	平成10年度(1998年度)に対し、燃料使用量及び走行距離を約10%削減する。	ガソリン	-8.7%	
		軽油	-6.7%	
		走行距離	-7.0%	
笑気ガス	極力削減に努める。		-20.0%	
水道使用量	平成10年度(1998年度)に対し約5%削減する。		-9.9%	-7.2%
用紙使用量	平成10年度(1998年度)に対し約5%削減する。		² -22.1%	

1：市民総合会館が1998年度と同様に業務を行った場合の推定値。

2：用紙使用量集計結果は参考値。現状では誤差が大きく、集計方法に改善を要する。

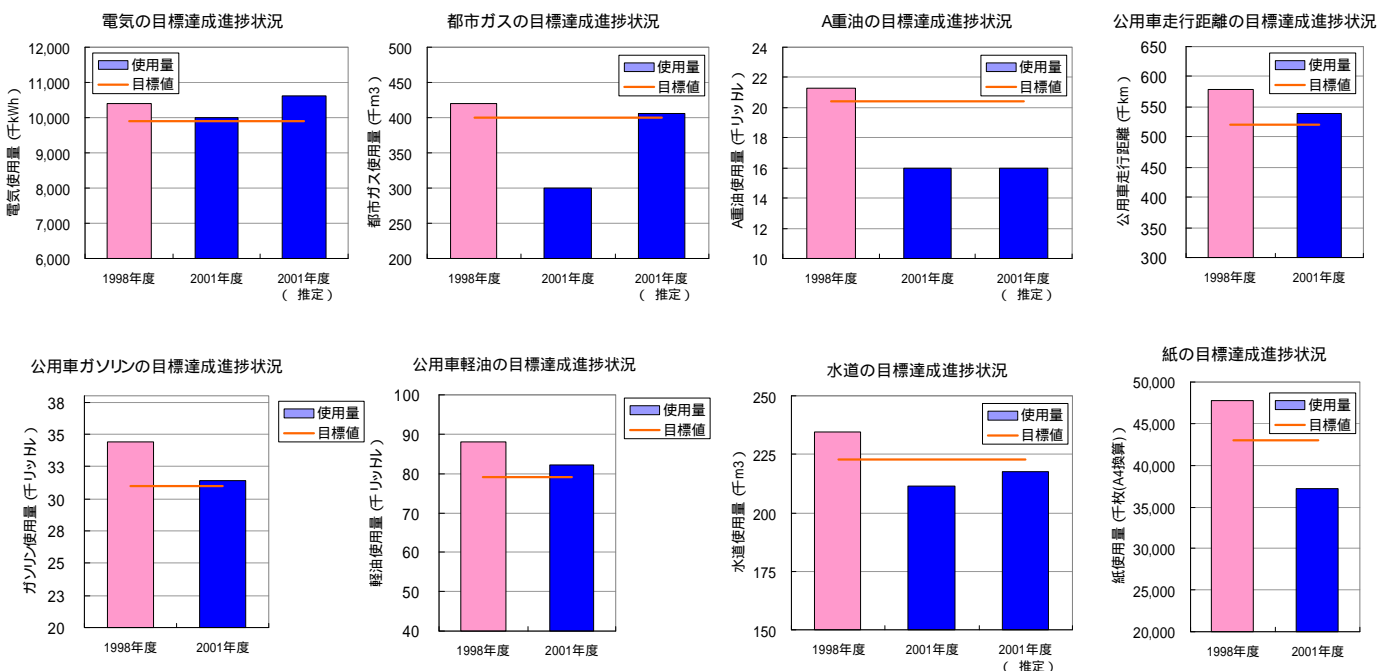


図3 目標達成進捗状況

2. 施設分類別排出量

温室効果ガス排出量を施設分類別（4分類）で比較した場合、表3のとおり本庁（-5.5%）、市民利用施設（-28.1%）が減少している一方、教育等施設（3.6%）、その他施設（3.1%）は増加している。市民総合会館が同様に業務を行ったと仮定した場合、表4のとおり市民利用施設は4.3%の減少となる。

表3 年間総排出量の年度比較

単位：t-CO₂

		電気	都市ガス	燃料	公用車の走行 (燃料以外)	その他	合計
0 全体	2001	3,837.745	597.308	416.768	4.374	88.202	4,944.397
	1998	3,999.292	837.662	511.099	4.254	95.927	5,448.234
	増減率	-4.0%	-28.7%	-18.5%	2.8%	-8.1%	-9.2%
1 本庁	2001	480.015	96.925	123.640	2.378	35.406	738.364
	1998	508.831	90.882	145.535	2.375	33.600	781.222
	増減率	-5.7%	6.7%	-15.0%	0.1%	5.4%	-5.5%
2 教育等施設	2001	533.826	142.423	0.908	0.000	0.000	677.156
	1998	507.961	144.341	1.313	0.000	0.000	653.615
	増減率	5.1%	-1.3%	-30.9%			3.6%
3 市民利用施設	2001	981.916	335.328	45.949	0.188	40.903	1,404.284
	1998	1,258.570	580.786	63.776	0.168	49.608	1,952.907
	増減率	-22.0%	-42.3%	-28.0%	12.0%	-17.5%	-28.1%
4 その他施設	2001	1,841.988	22.632	246.271	1.808	11.984	2,124.684
	1998	1,723.930	21.654	300.475	1.711	12.719	2,060.489
	増減率	6.8%	4.5%	-18.0%	5.7%	-5.8%	3.1%

その他は、カーエアコンのフロン漏出、笑気ガス

表4 市民総合会館が業務を行った場合の推定値

単位：t-CO₂

		電気	都市ガス	燃料	公用車の走行 (燃料以外)	その他	合計
0 全体 (2001 推定)	2001	<u>4,077.378</u>	<u>820.646</u>	<u>417.664</u>	<u>4.387</u>	<u>88.888</u>	<u>5,408.963</u>
	1998	3,999.292	837.662	511.099	4.254	95.927	5,448.234
	増減率	2.0%	-2.0%	-18.3%	3.1%	-7.3%	-0.7%
1 市民利用施設 (2001 推定)	2001	<u>1,221.549</u>	<u>558.665</u>	<u>46.845</u>	<u>0.201</u>	<u>41.498</u>	<u>1,868.759</u>
	1998	1,258.570	580.786	63.776	0.168	49.608	1,952.907
	増減率	-2.9%	-3.8%	-26.5%	20.0%	-16.3%	-4.3%
市民総合会館	2001	112.930	38.484	0.142	0.006	0.595	152.156
	1998	352.563	261.821	1.038	0.019	1.190	616.631
	増減率	-68.0%	-85.3%	-86.4%	-69.5%	-50.0%	-75.3%

下線斜体 は推定値

= - +
= + + +

表1、表2の温室効果ガス排出量から施設分類別の排出割合を算出すると図4のとおりとなる。基準年度と比較して2001年度では市民利用施設の割合が減り、その他施設の割合がわずかに増えている。

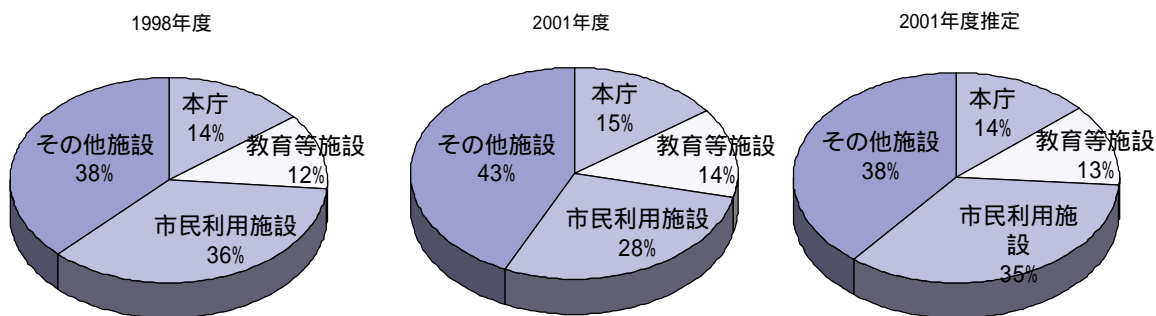


図4 施設分類別排出割合

3. 公用車の走行距離及び燃料使用量

公用車による燃料使用量と走行距離の増減量は表5、図5のとおりであり、ガソリンは約3千4百リットル削減、軽油は約5千9百リットルの削減となった。走行距離はガソリン、軽油の合計で約4万2千kmの削減となっている。

燃料当たりの走行距離（燃費）をみると、全体では若干増加した結果となったが、分類別では本庁関係では減少、市民利用施設及びその他施設では増加となっている。

表5 公用車の燃料使用量と燃費の増減

項目		1998年度		2001年度	
		実績	実績	実績	増減量
ガソリン	走行距離 (km)	257,173	233,183		-23,990
	使用量 (リットル)	34,448	31,067		-3,381
	km/リットル	7.47	7.51		0.04
軽油	走行距離 (km)	321,791	303,385		-18,406
	使用量 (リットル)	87,922	82,053		-5,869
	km/リットル	3.66	3.70		0.04
合計	走行距離 (km)	578,964	536,568		-42,396

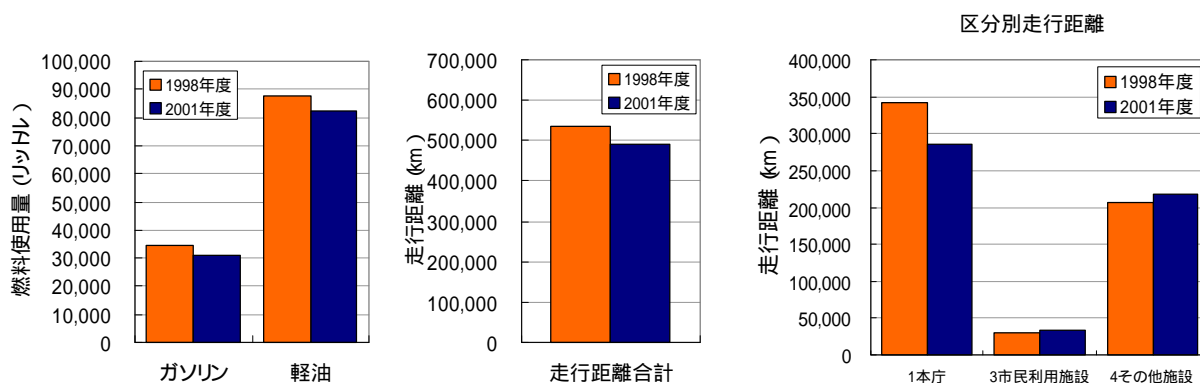


図5 公用車の燃料使用量と走行距離の年度別推移